れんげ

第129号
令和7年4月18日 発行
●発行
社会福祉法人
大北社会福祉事業協会
救護施設れんげ荘
http://www.dhk.janis.or.jp/~rengesou/
E-mail:rengesou@dhk.janis.or.jp
●編集
れんげ編集委員会

れんげ荘理念

共に生きる場として
その人らしい潤いのある
あたりまえの生活に
寄り添います

行動指針

1、私たちは笑顔で接します
2、最後まで話を聴きます
3、想いに寄り添います

基本方針

1、私たちは専門知識と技術に基づいた支援を通じ利用者の自立支援をこころがけます
2、その人らしく生きられる選択肢を提供します
3、自己決定できる環境づくりに努めます
4、社会・地域とのつながりを大切にします

ごあいさつ

桜の開花待ち遠しい今日このごろ、皆さまにおかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私ごと

三月三十一日をもちまして、所長の職を退くこととなりました。

今日まで大過なく、任を全うできたことを関係諸氏の皆さまに心より感謝申し上げます。

福祉の世界に入職し、四十三年。ひたすら人、人たちと向き合う日々でした。利用者たちであり、その家族、職場の方々、関係機関、団体の人々、業者やボランティア、地域の皆様です。失敗や悔恨、成功体験や達成感など大きな学びや、反省など、悲喜こもごも。しかし、大変やりがいのある仕事と実感し、貴重な経験を沢山積まさせていただきました。

今後は、後任の鈴木所長に施設の運営を託し、救護施設の職員としての誇りを胸に次なるステージに立ちたいと思います。今まで支えて下さった、大勢の皆さまのご支援に深謝し、御礼と、退任のあいさつとさせていただきますありがとうございました。

令和七年三月三十一日

救護施設れんげ荘　所長　西澤　範昭

ごあいさつ

令和七年四月一日付で救護施設れんげ荘の所長に就任致しました鈴木敦です。どうぞ宜しくお願い致します。

現在のれんげ荘は「共に生きる場としてその人らしい潤いのあるあたりまえの生活に寄り添います」という理念のもと、三〇歳代から八〇歳代と幅広い年齢層と多様化する障害を持つ利用者の暮らしの場となっております。また、居宅生活への移行を支援する居宅生活訓練事業や法務省長野保護観察対象者の自立に向けた自立準備ホームとしての機能も兼ね揃えています。その反面、施設内で高齢化が進む利用者へのケアも忘れてはなりません。日々の健康状態を把握し身体機能を維持し安定した生活が送れるよう支援も行っております。

まずはこの一年間私自身信念を持ち、皆と協力し何事においても全力で取り組んで行きたいと思います。そして、れんげ荘が今まで築き上げてきた功績や地域との繋がりを大切に、安心して生活できる場の提供を目指して行きますのでご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

令和七年四月一日

救護施設れんげ荘　所長　鈴木　敦

下半期の行事いろいろ

そば打ち体験

日帰り旅行

寿司バイキング

クリスマス会

歌った　踊った

令和6年度　相談年間集計結果

内容別		原因別	
1）職員の接遇に関するもの	9 件	1）説明・情報提供に関すること	0 件
2）サービスの質・量に関するもの	6 件	2）職員への要望に関すること	23 件
3）事故・被害・損害に関するもの	0 件	3）サービス内容に関すること（建物、構造に関わること）	0 件
4）事業所運営等に関するもの	0 件	4）金銭上のトラブル	0 件
5）契約内容に関するもの	6 件	5）その他（日常生活の不満、人間関係他）	71 件
6）事業所の建物の構造に関するもの	1 件	原因別相談件数合計	94 件
7）利用者間のトラブルに関するもの	16 件		
8）その他（タバコの本数について、外出外泊について、社会復帰について他）	56 件		
内容別相談件数合計	94 件		

新規採用

看護師　小西　幸枝

皆様が、笑顔で過ごせるよう体調管理をさせていただきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

看護師　松澤　佑美

皆さま、はじめまして。右も左もわからない状態ではありますが、一日も早く職場に慣れ、皆さまのお役に立てるよう精一杯頑張ります。ご指導よろしくお願いいたします。

異動

高瀬荘より

生活支援員　南山　朋実

お世話になります。よろしくお願いいたします。

白嶺へ

生活指導員　曽根原　学

大変お世話になりました。

寄付のお願い

古くなったタオルや布類、シーツ等がありましたら寄付していただけますと大変助かります。ご協力よろしくお願いいたします。

皆様からのご厚志

大町市……原田　年昭　様

大町市……田中　武雄　様

大町市……平林理容店　様

大町ライオンズクラブ　様

平地区　社会福祉協議会　日赤奉仕団　様

ありがとうございました。

編集後記

昨年の11月中旬頃から、あれよあれよと、瞬く間に雪が降り、れんげ荘は氷の世界に包まれていました。

咲きほころぶ花々に癒され、水の流れに目を奪われ、ようやく待ちわびた春を迎えることができました。

新しい仲間たちを迎え職員も利用者もみんなで仲良く、新年度スタート!